



鮮齋
永濯
撰畫

萬物雜形畫譜

貳編



鮮齋永濯撰圖

萬物雜形圖譜

東京書肆

青雲堂
萬青堂合版

萬物雜形圖譜序

畫圖雜工藝之益何了宜小器之
修之其如聖世之遭遇一畫進大
間多工藝之進心茲之於人溫
古之熱一知新小競之國象之
利也之結中鮮齋永濯子繪

事に率先一機軸を以て其画
けり洋装并舎りて雅致を究め
たるあり一彫工安親子其畫を輯め
彫琢の模形となり一響に一篇を世
小公山に果して其畫を授けし
今より二編を篇を予之に觀るに

其形を摸一真公寫之頗る人
意の表に出り鳴呼工藝に道を
開き秘出せ給ふ多かりし二子
其畫に傳ふる也

庚辰秋抄

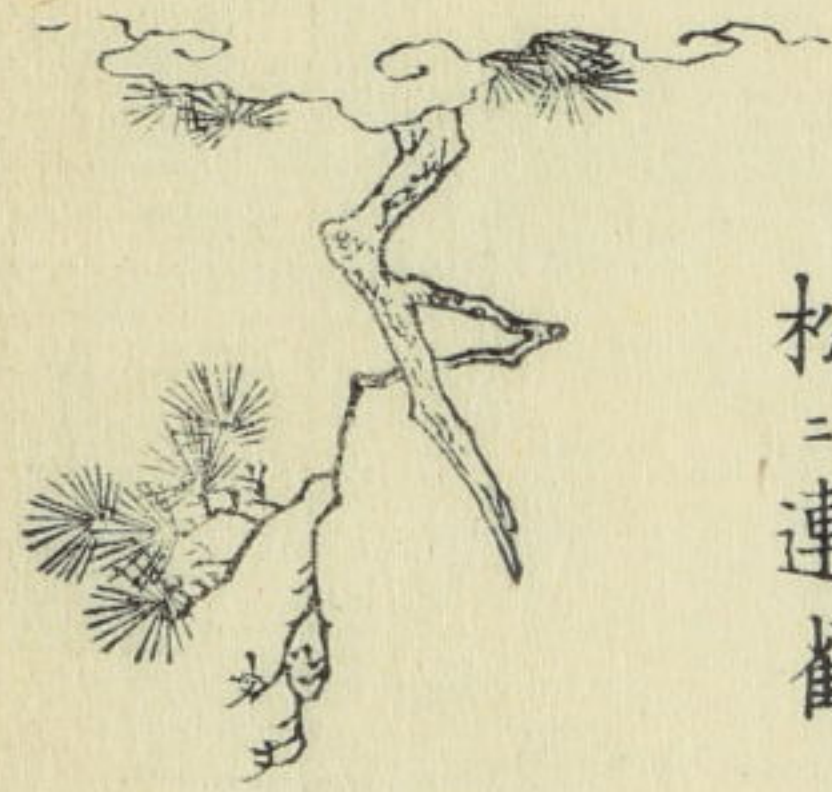
鴉林推子法保書

國常立尊

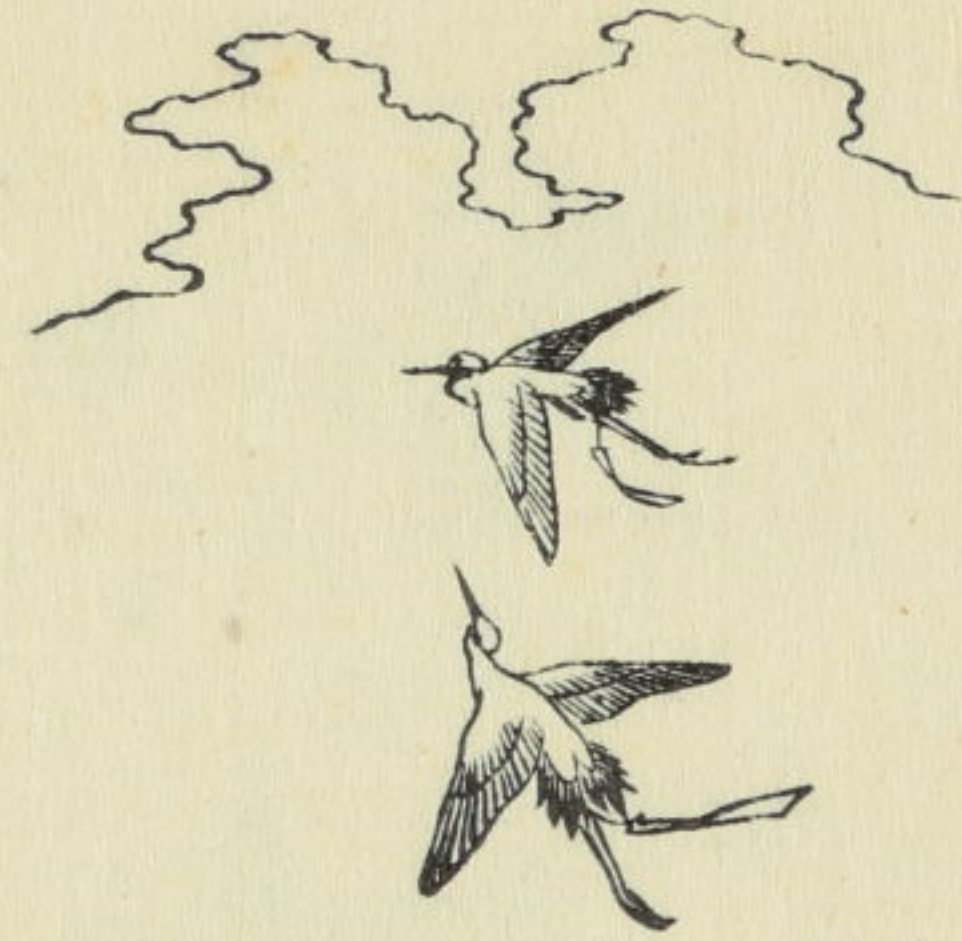
高勿佳多畫普
二編



江藤書屋藏版



松ニ連雀



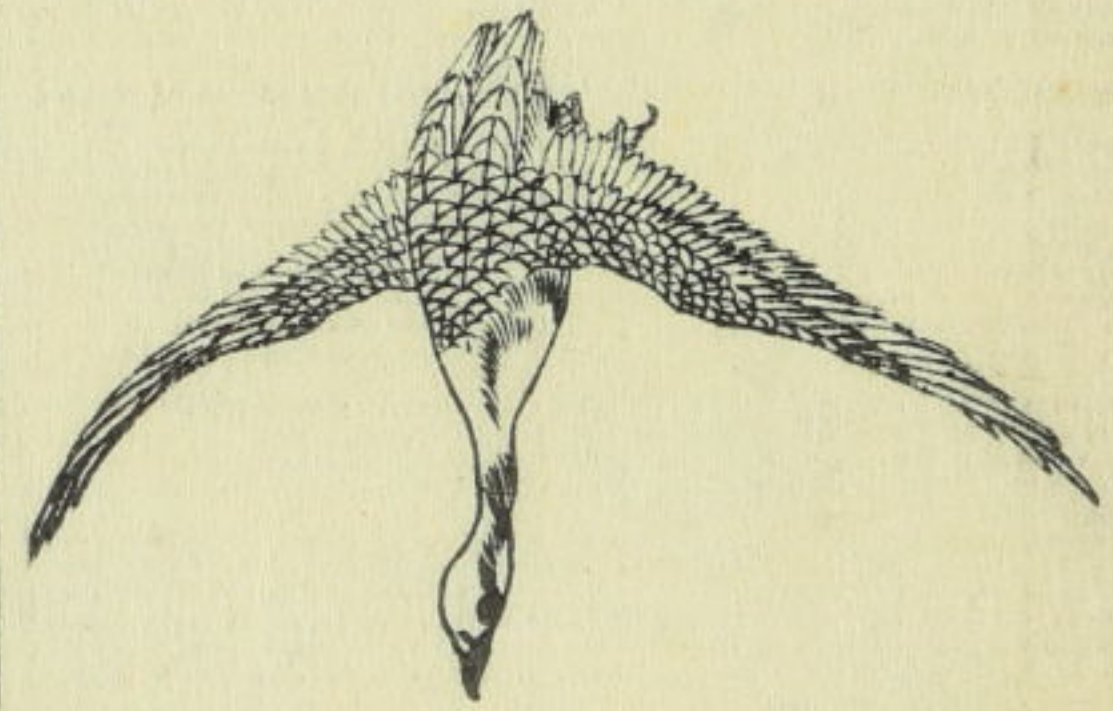
頼朝

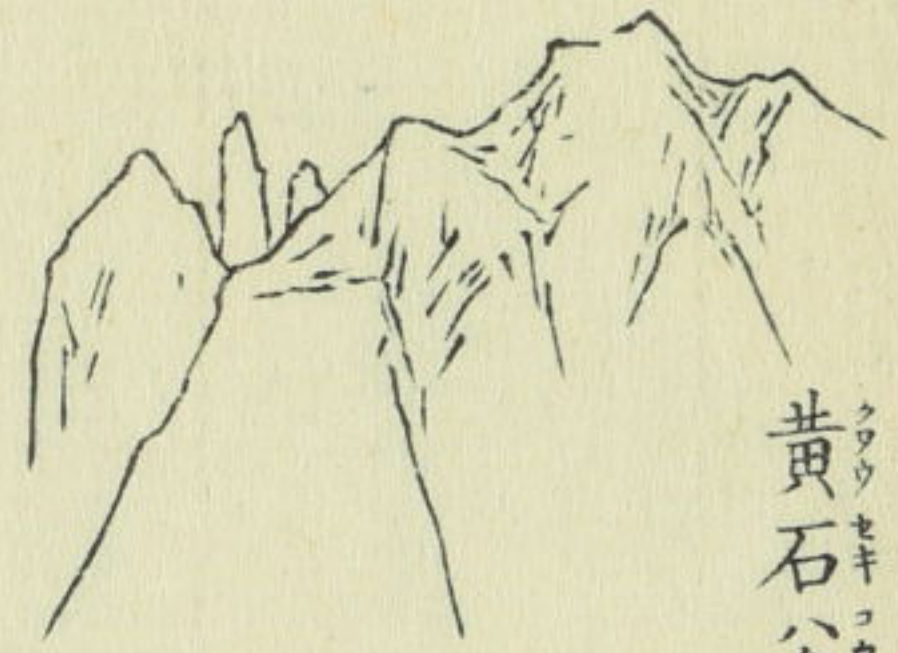


花ノ杷枇



雁

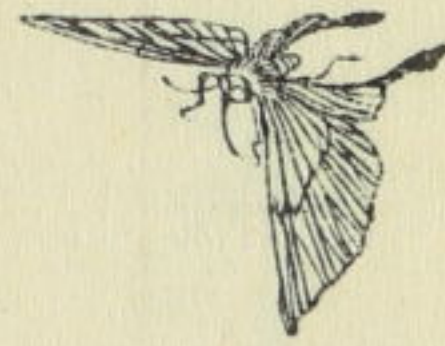




張良
黄石公



柿

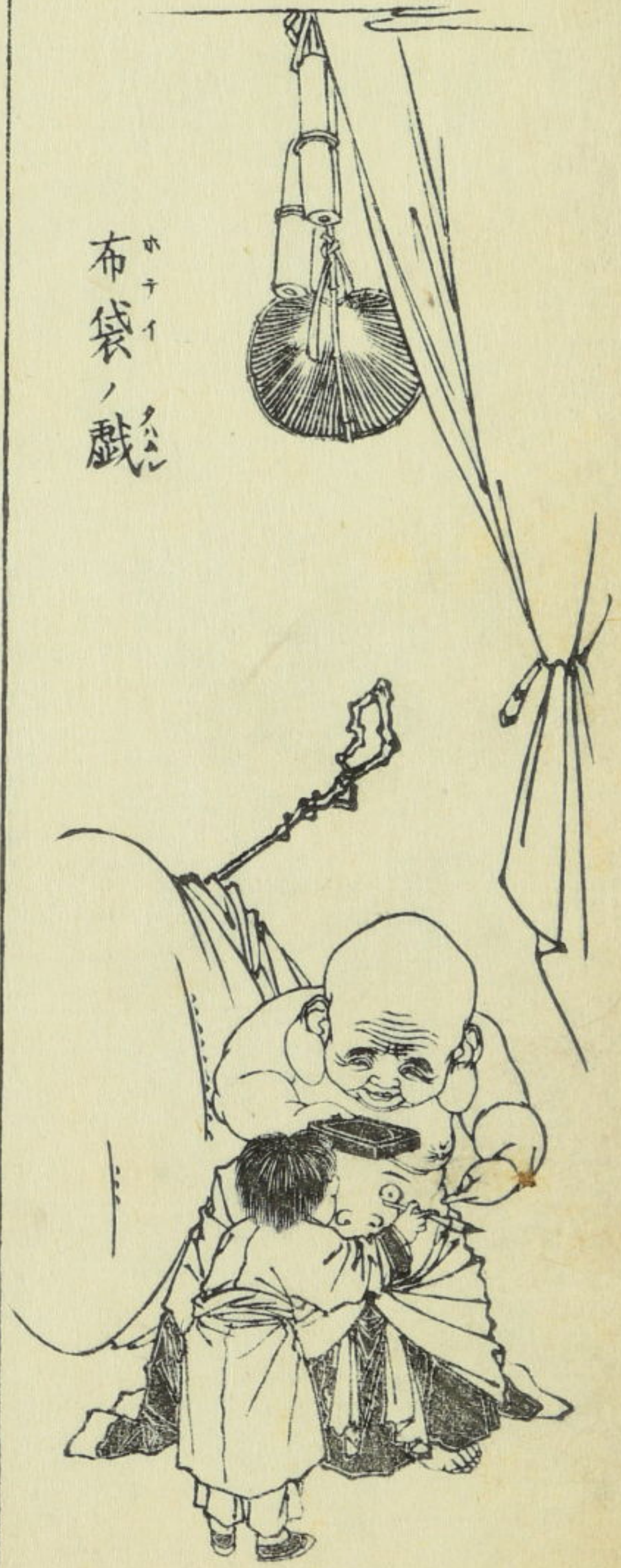


天
拜
山



梅
翠
雀





布袋ノ戲



蟹ト猿



梅ニ桃



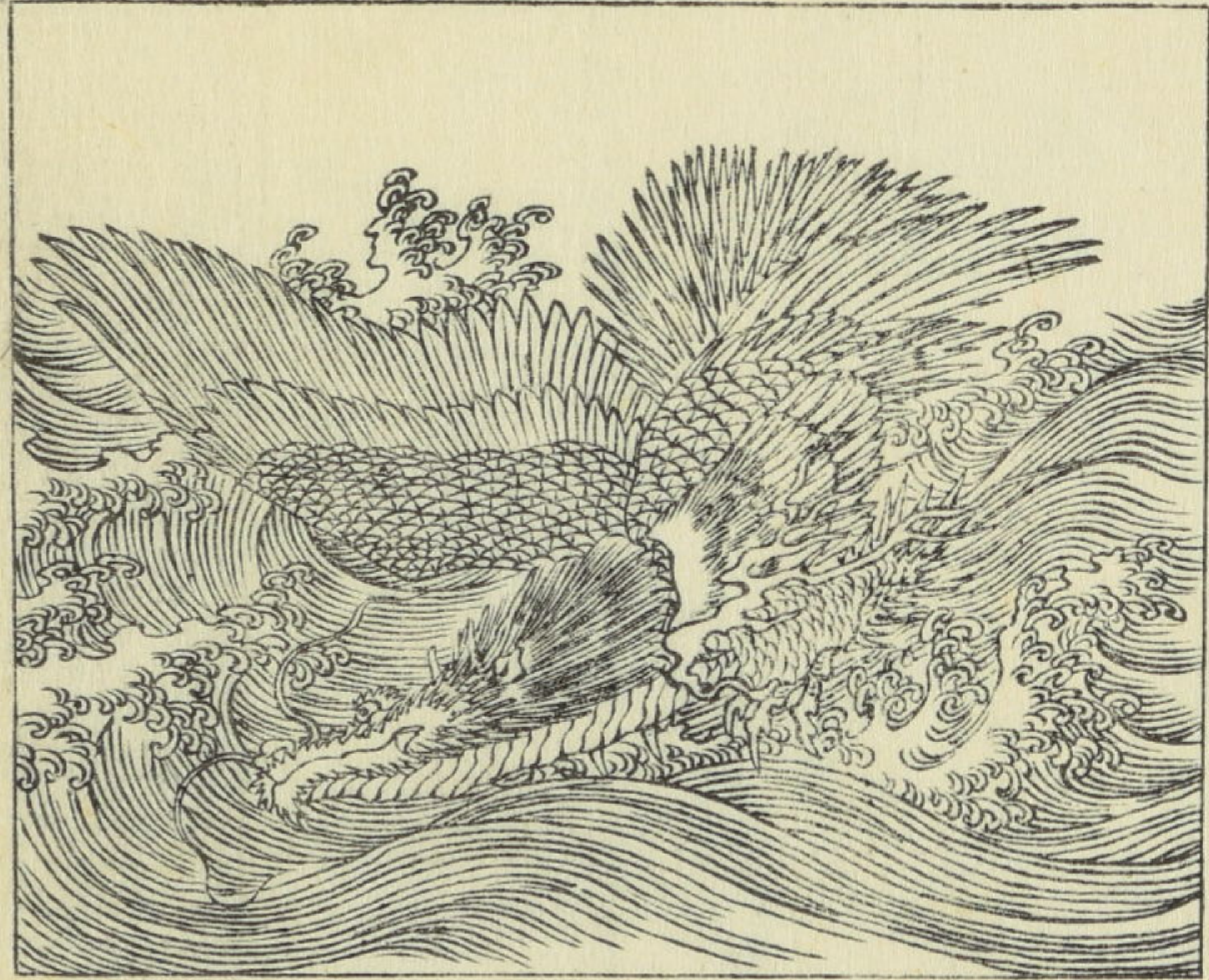
張飛



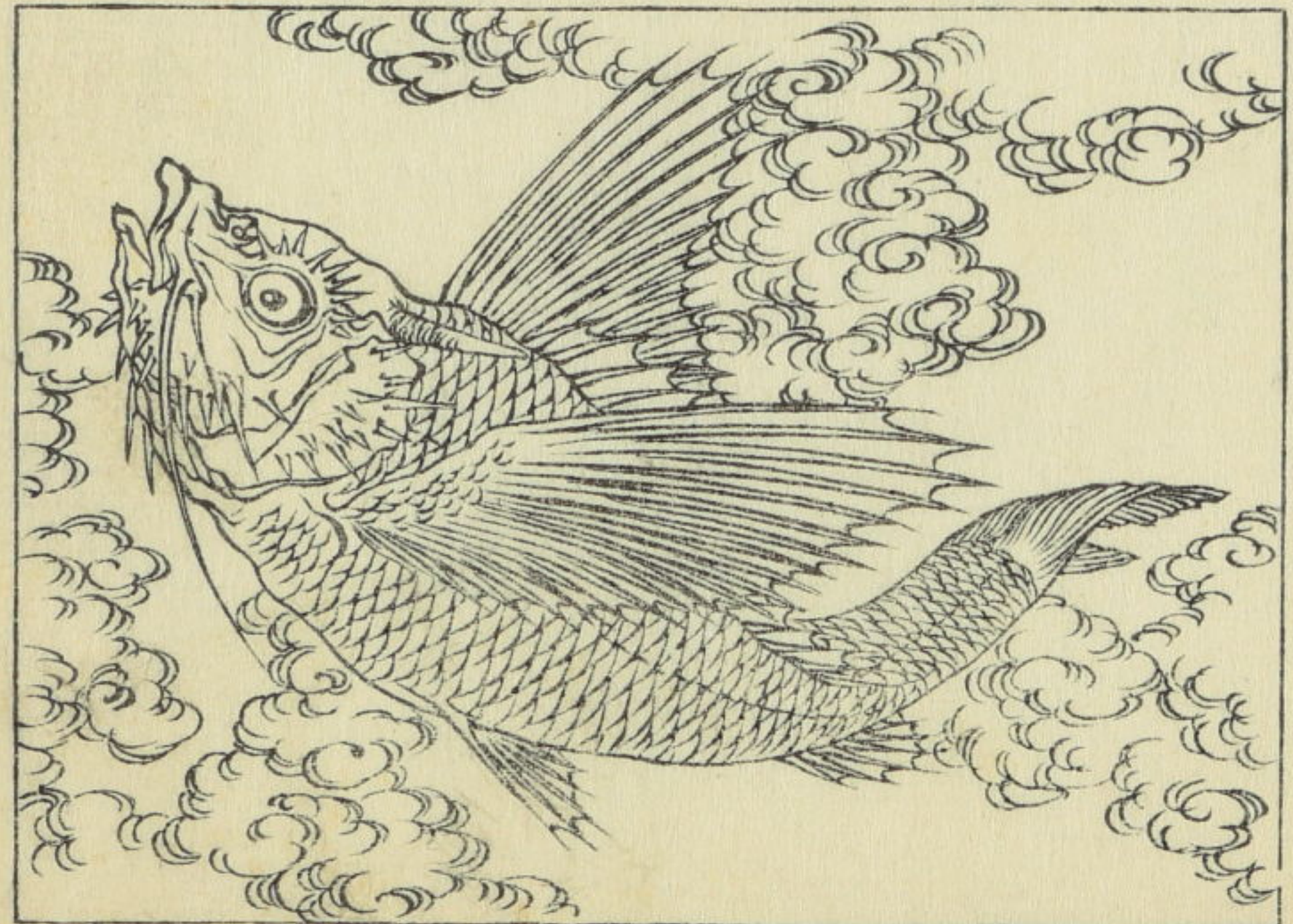
須佐之男命天照大神ト問答ノ圖



孔雀

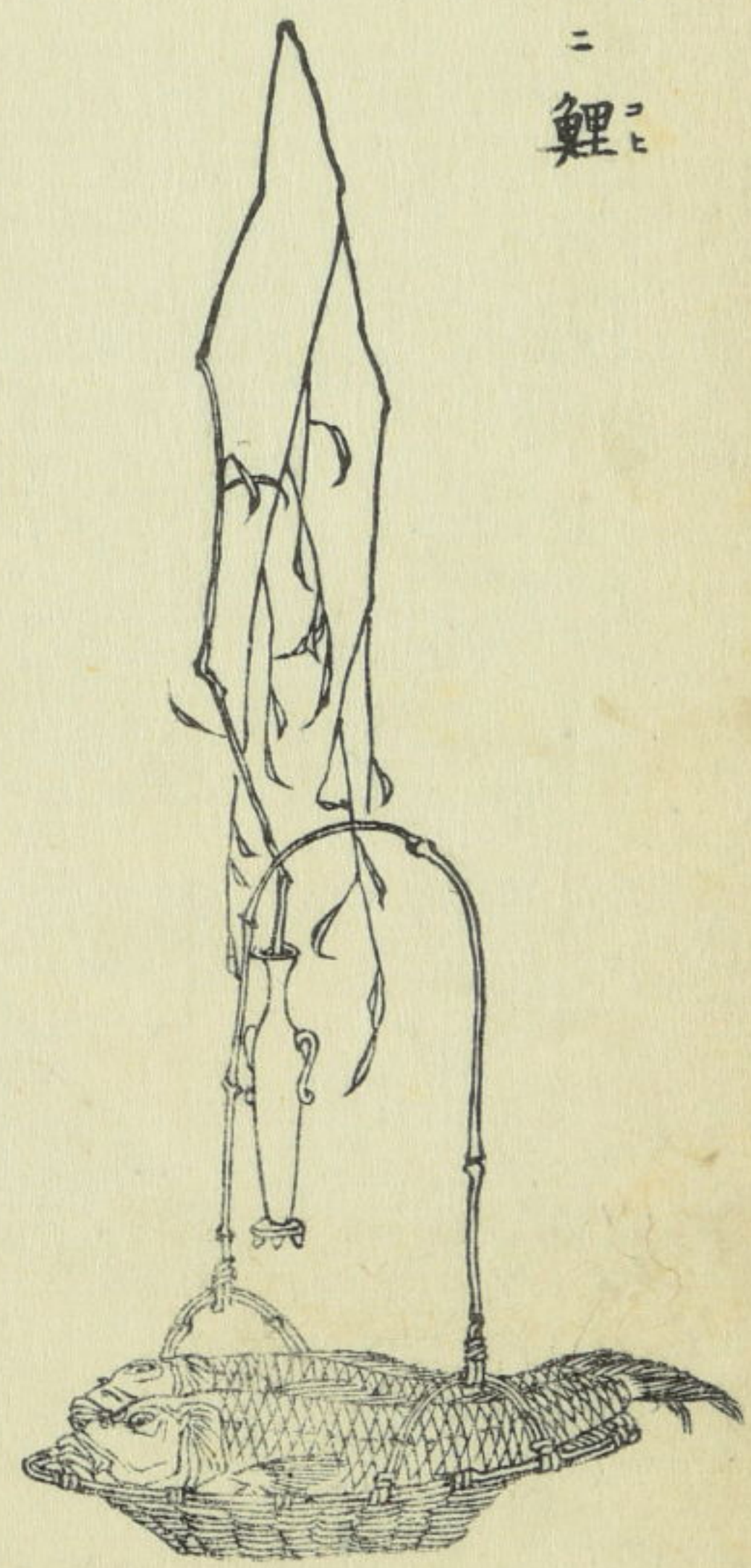


飛龍



鯉魚化レテ龍トナル

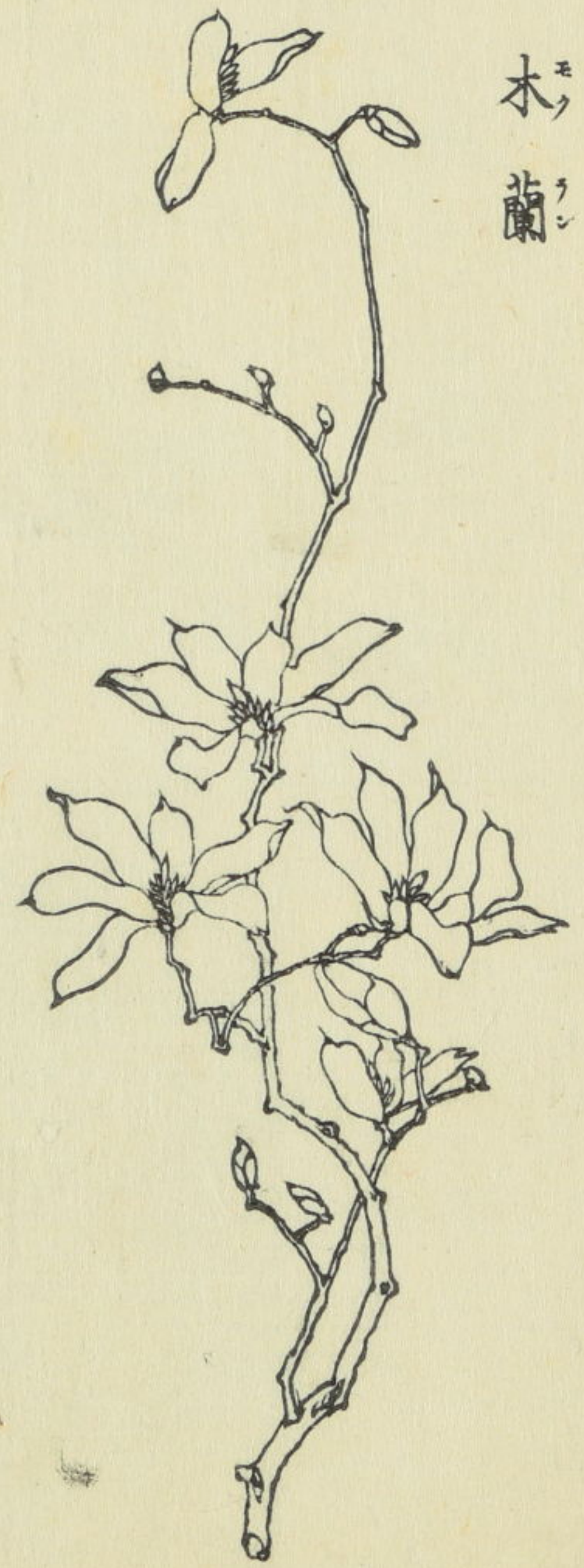
柳 二 鯉



福 壽 之 圖



木 蘭



佛 手 柑
煎 茶 器

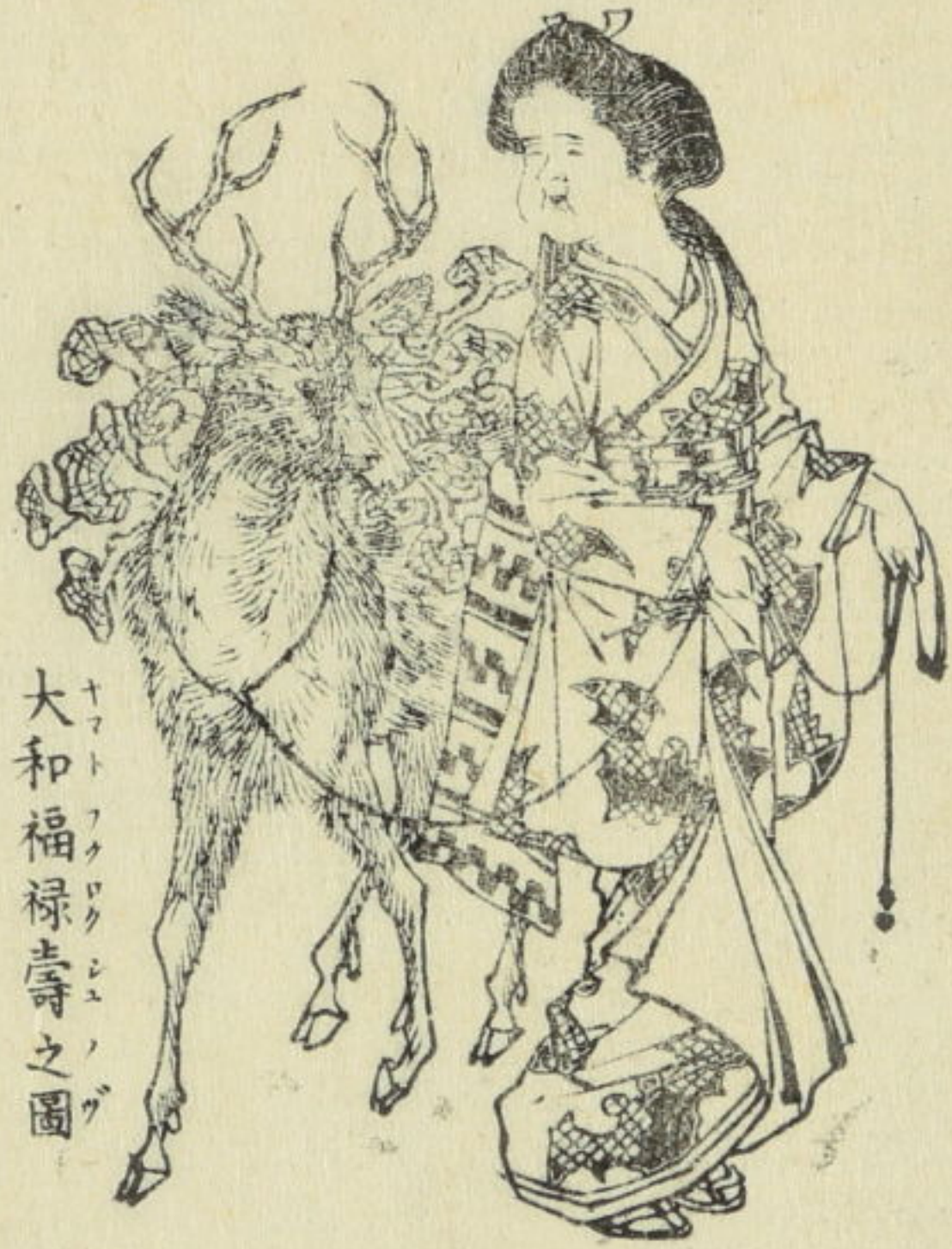


7
X

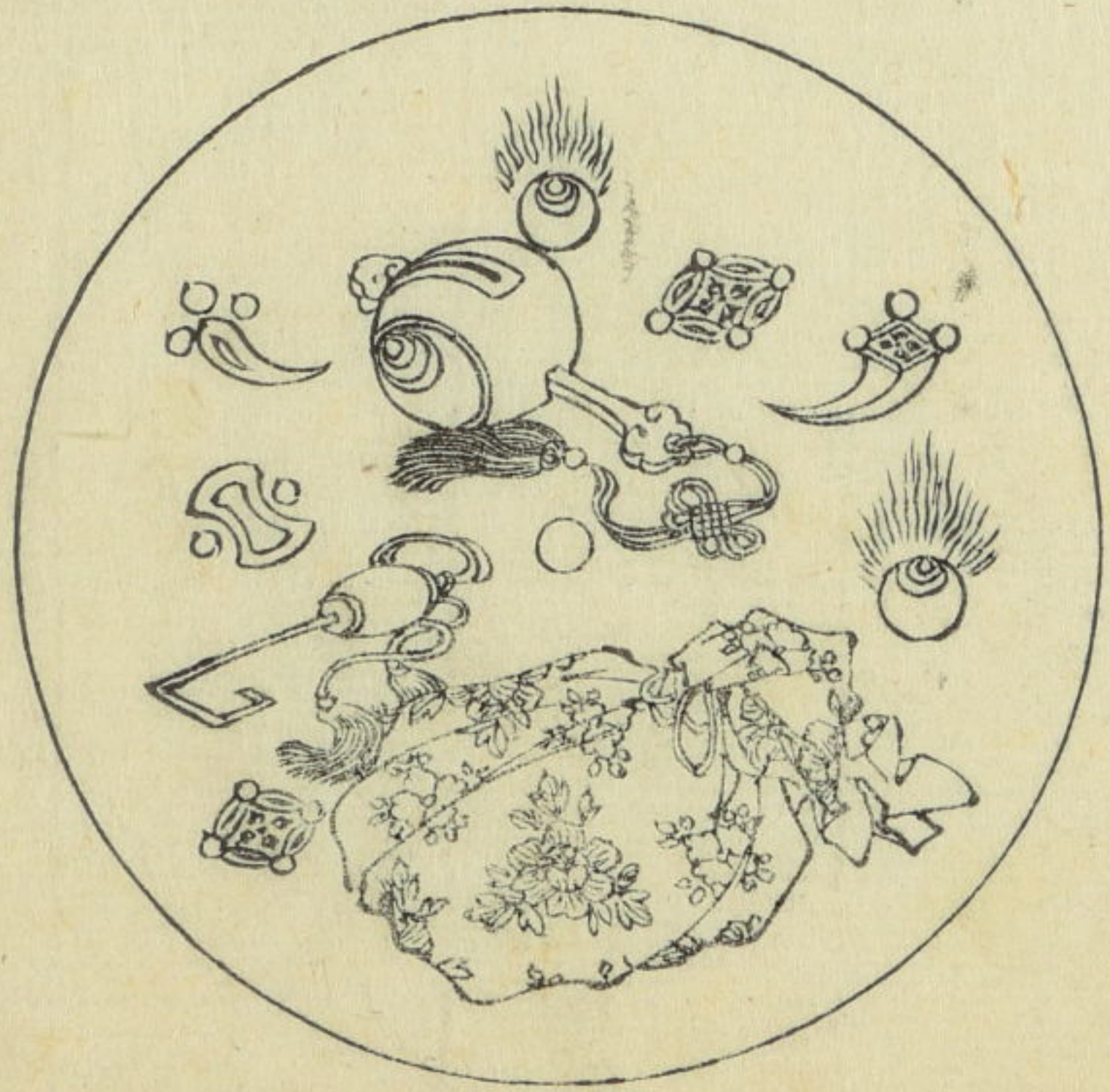
物
竹
梅



松竹梅



大和福祿壽之圖



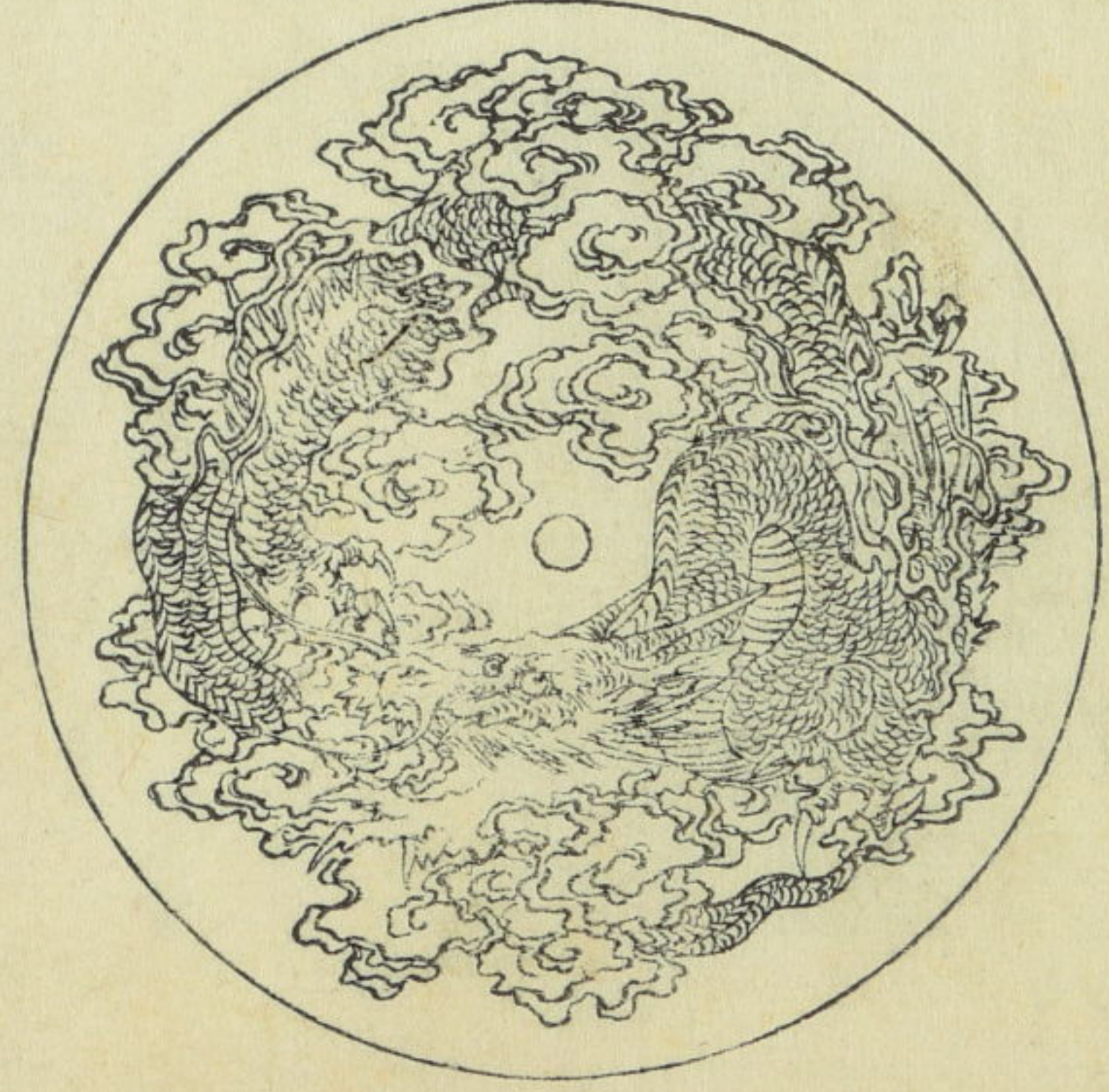
寶盡



同圖



福祿壽之圖

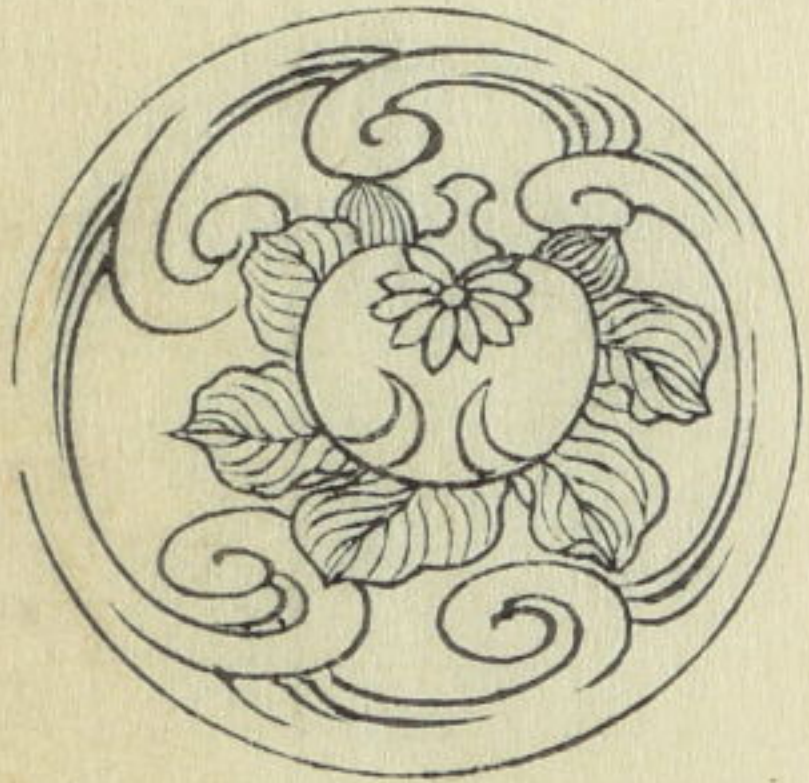


九龍

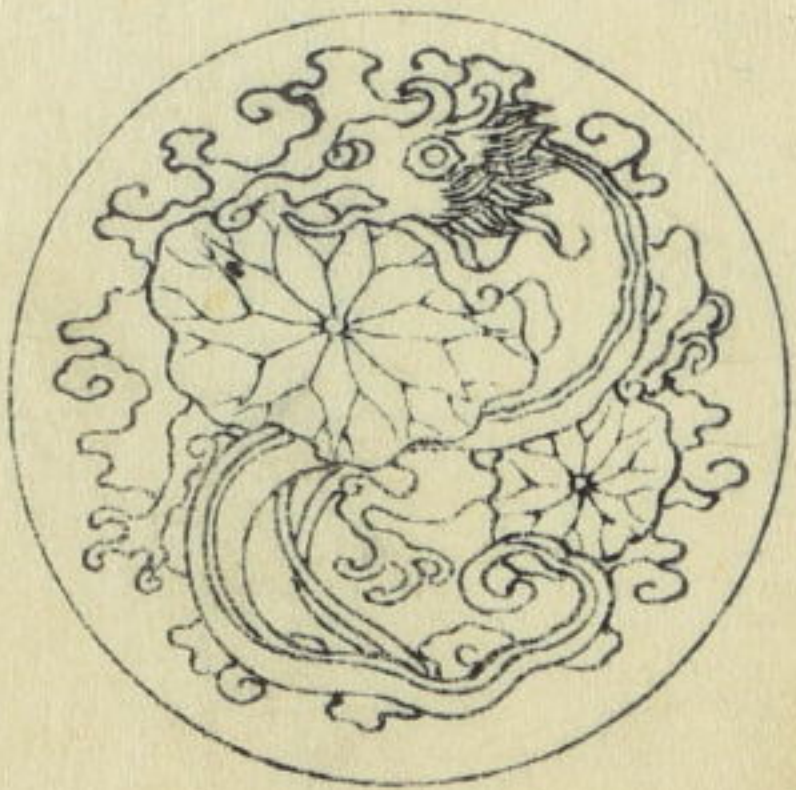
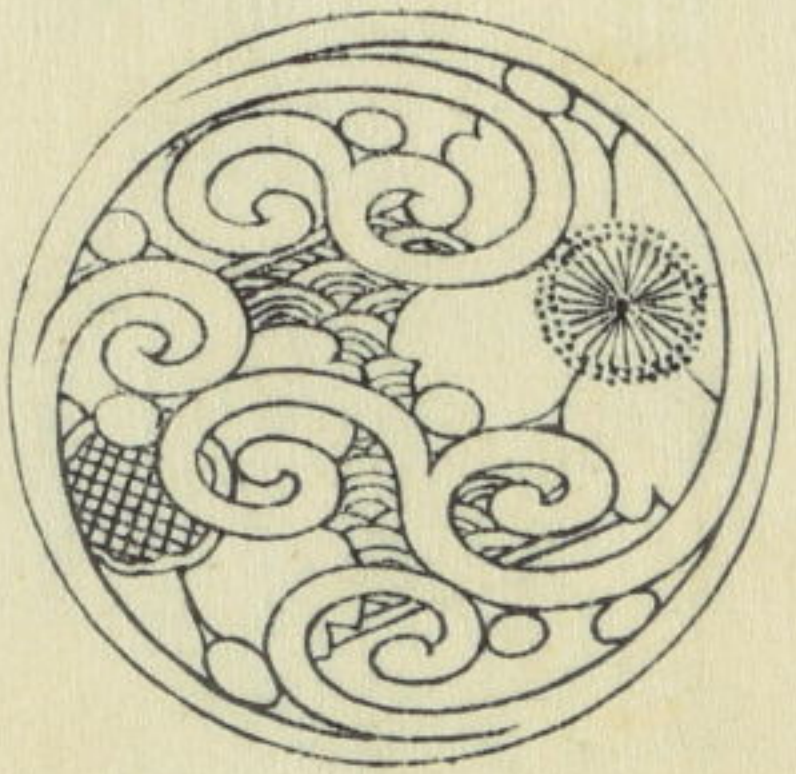
龍
物
總
冊
講
義
二
終

九

同



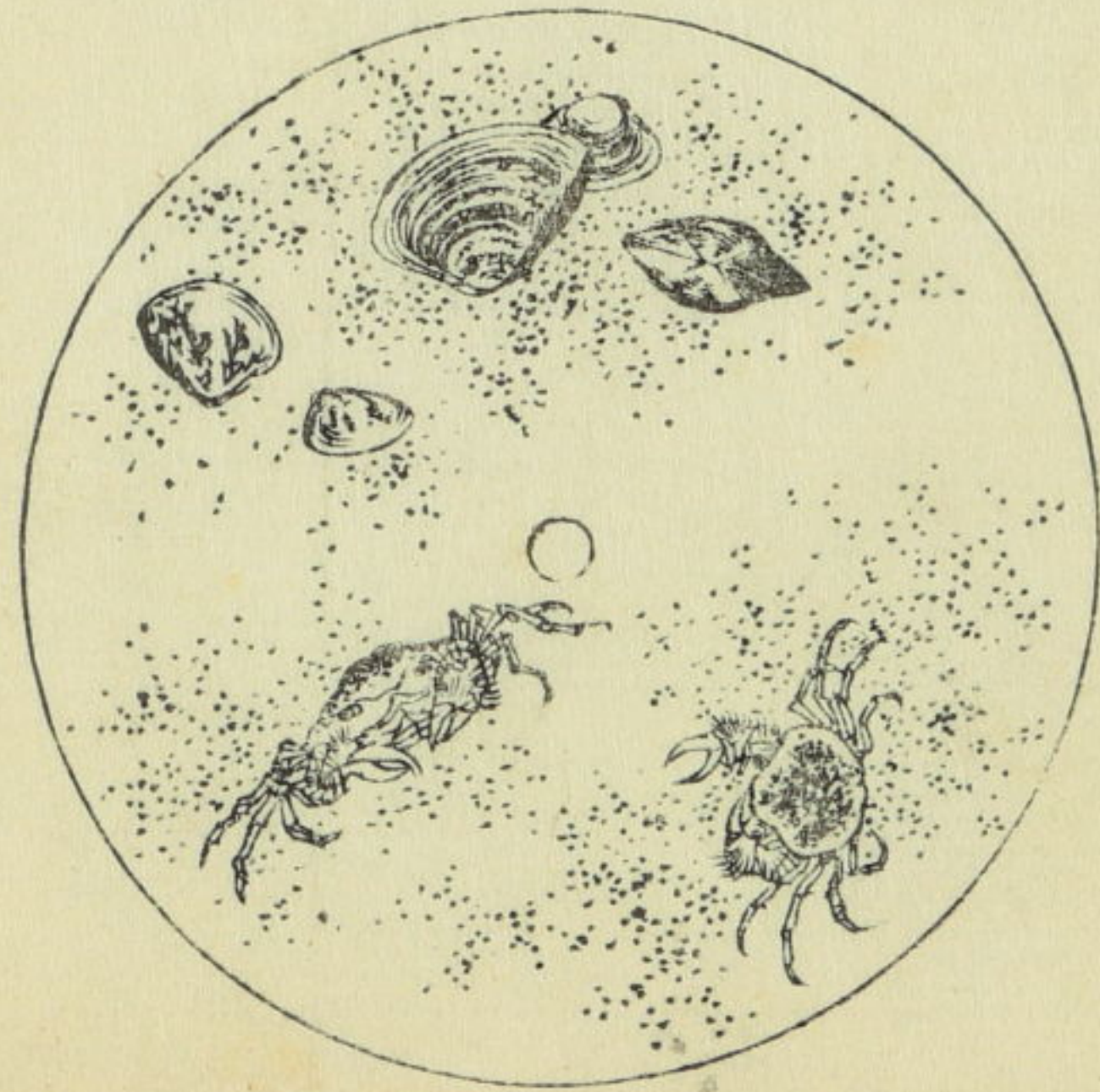
古^コ代^{ダイ}模^モ樣^{ヤウ}



兵士^{ヘイシ}

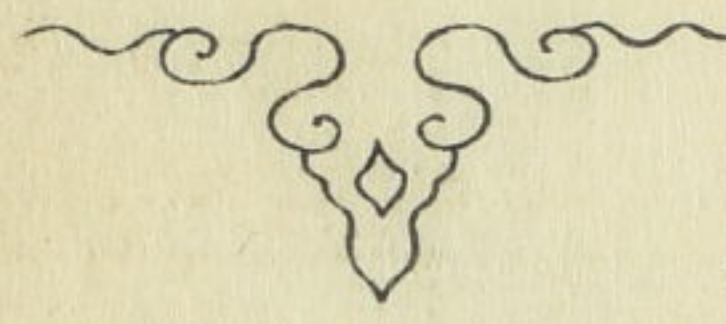


常盤^{トキハ}

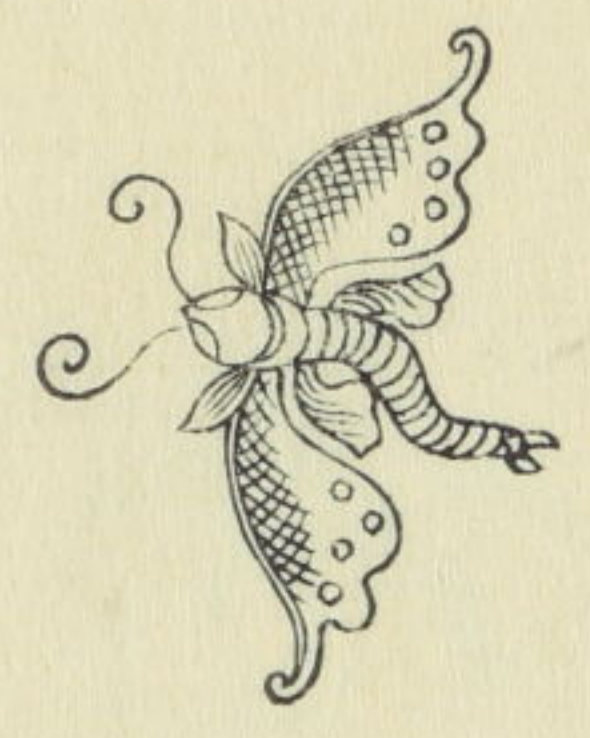


蛤^{ハマグリ}具^グ
蟹^{カニ}

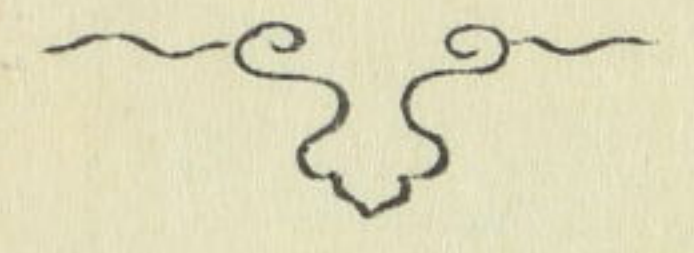
植物名考



モク
ラン



ハナ
カラ
クサ



ヤ
エ
ツバ
キ

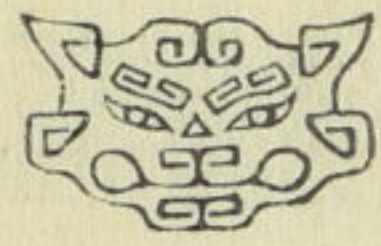


ハナ
カラ
クサ

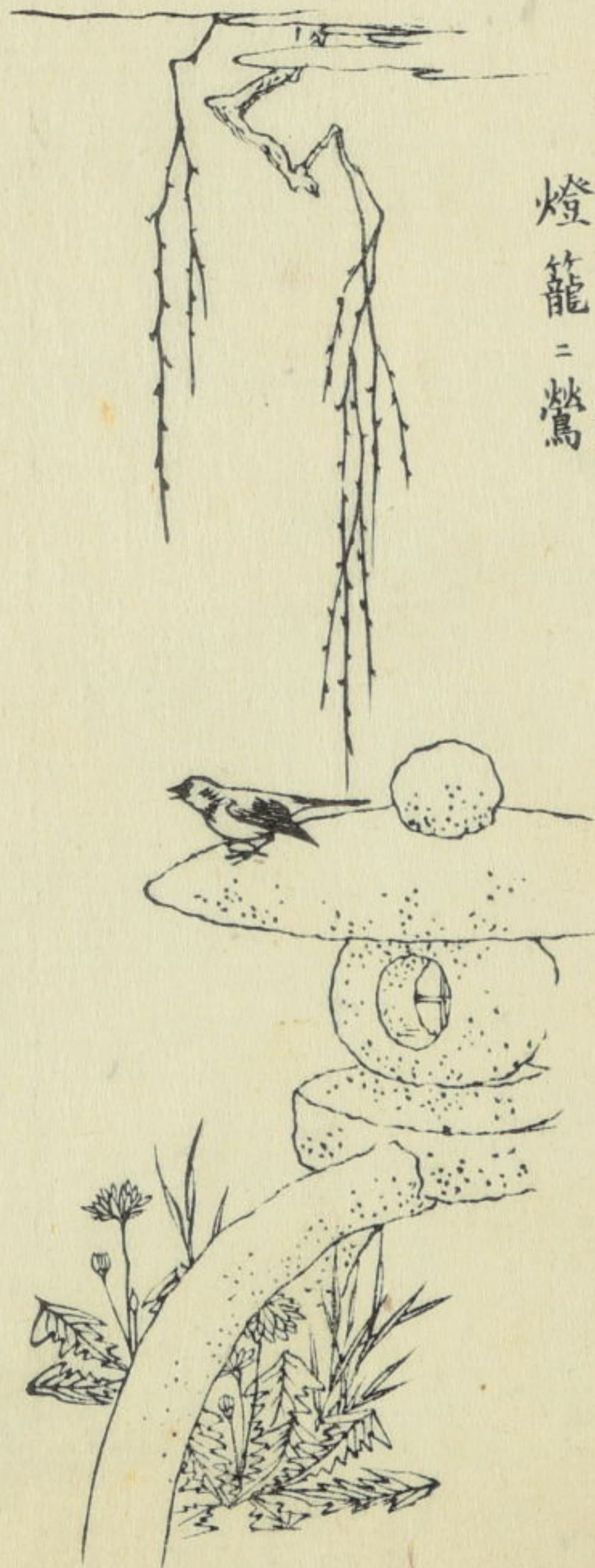
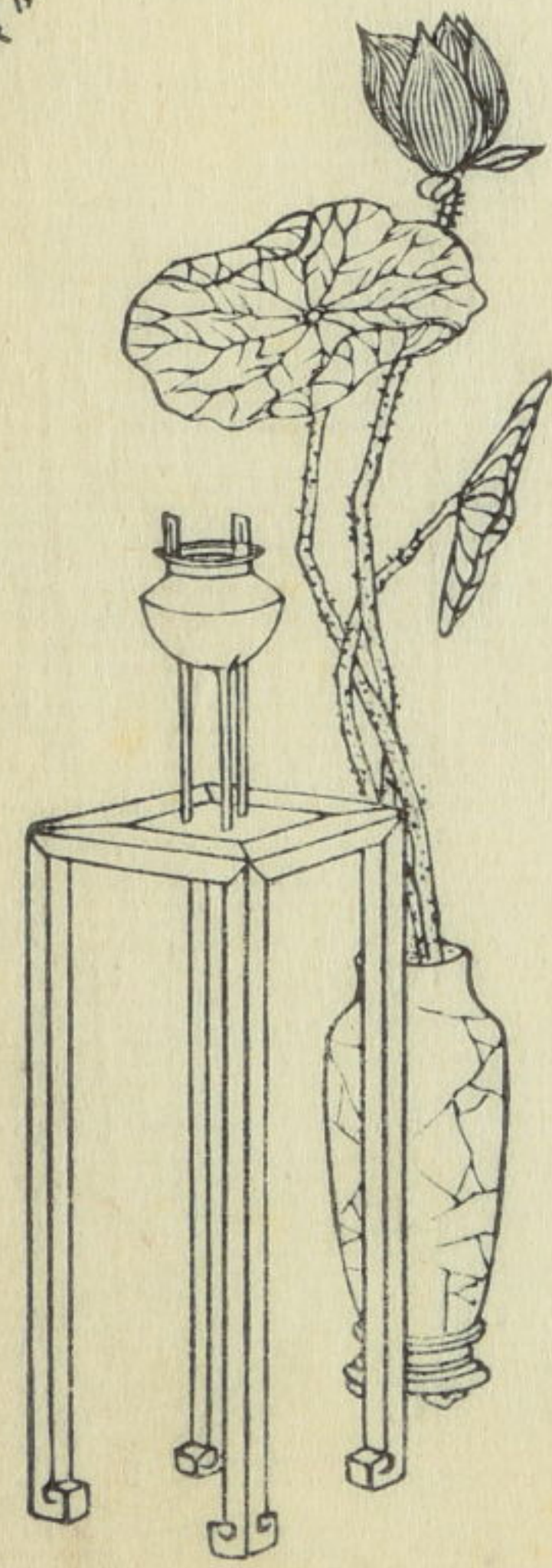


植物名考

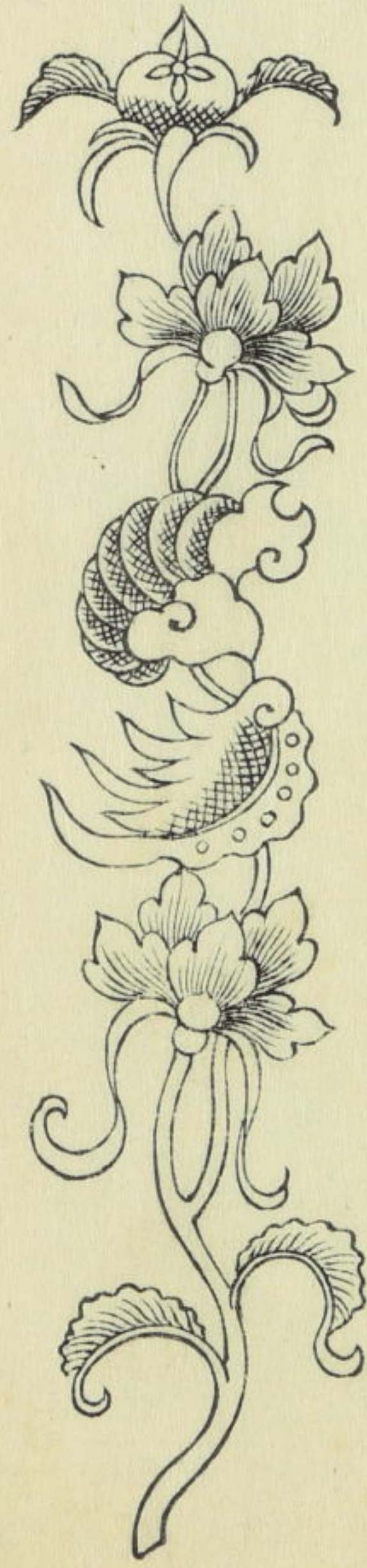
七三



蓮ニ香爐



燈籠ニ鶯

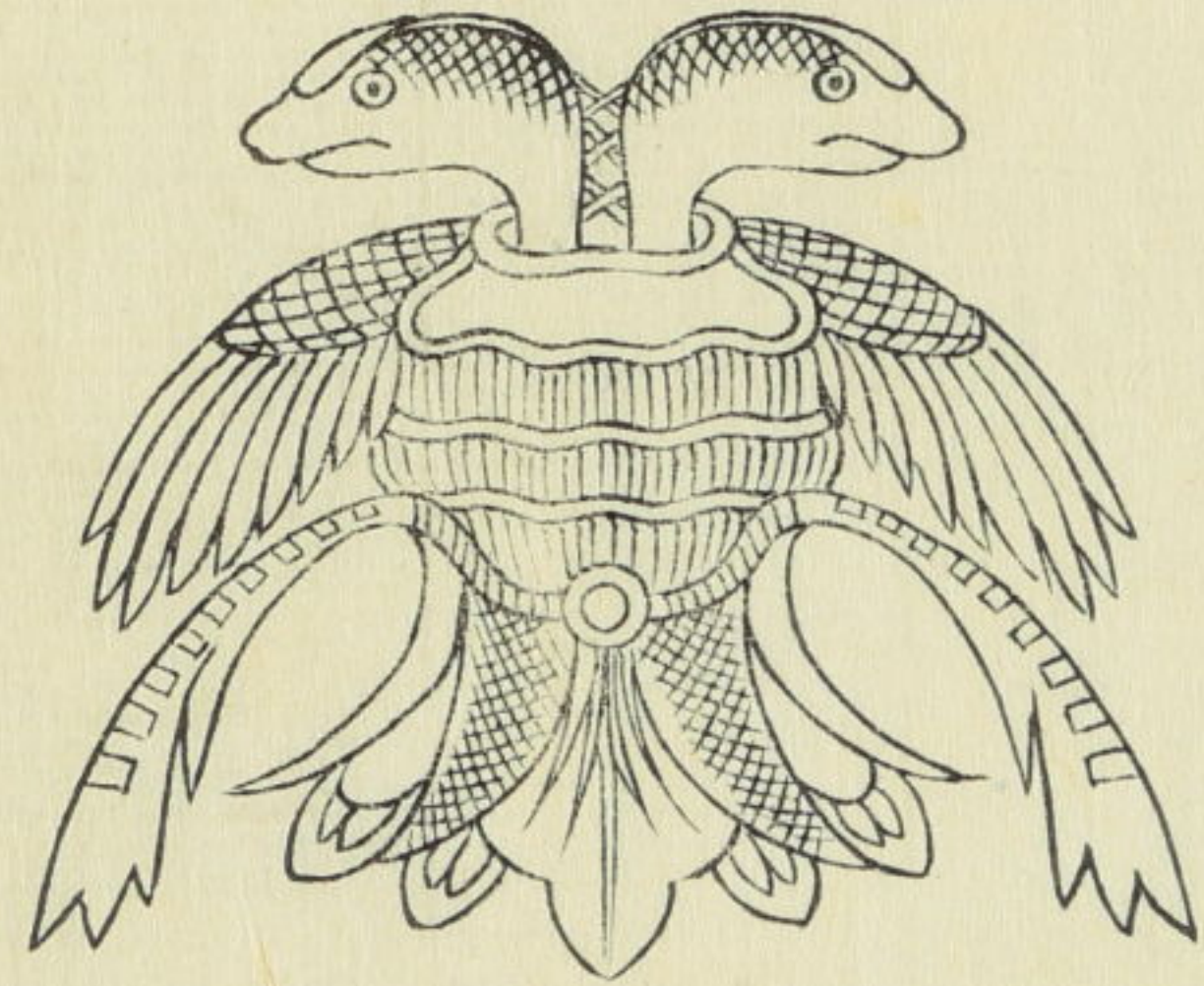


花唐草



金燈籠



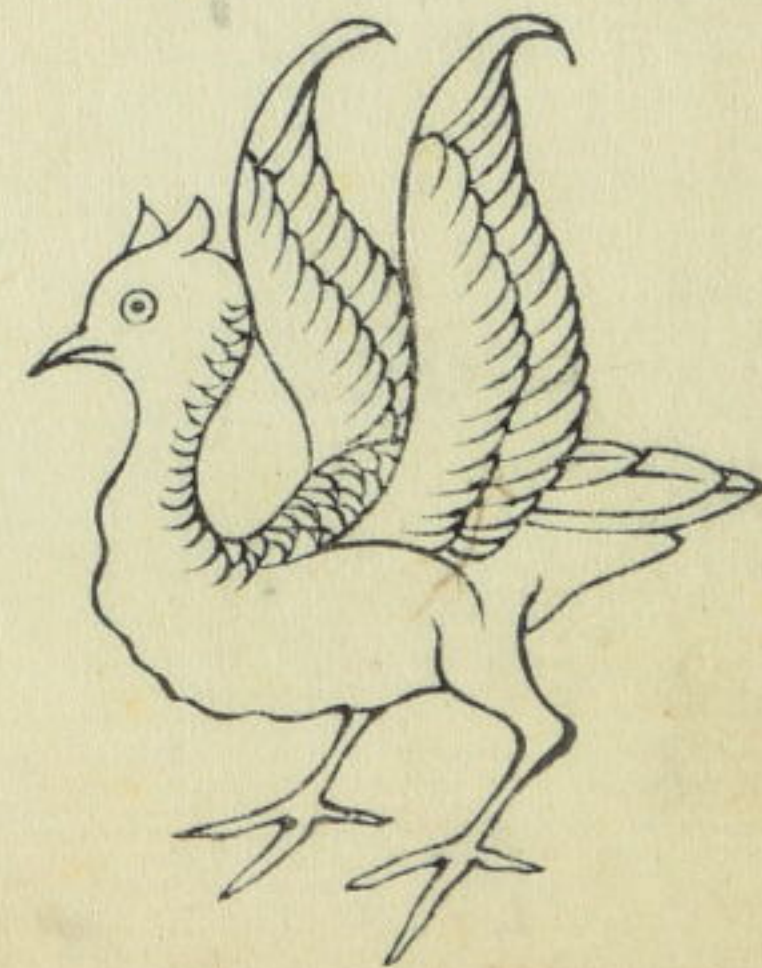
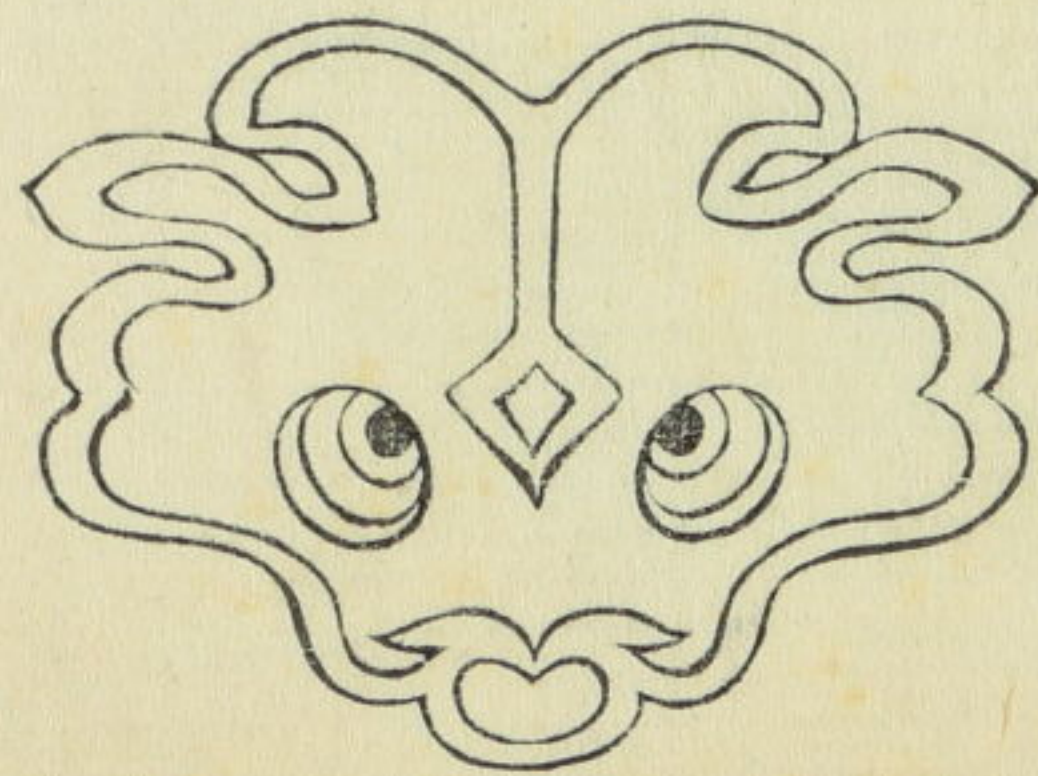
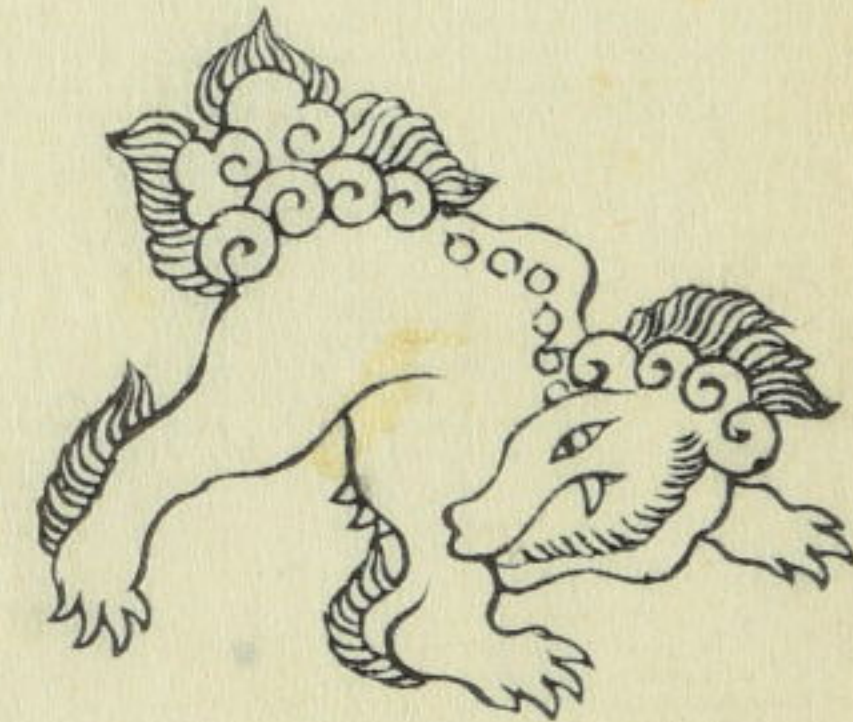
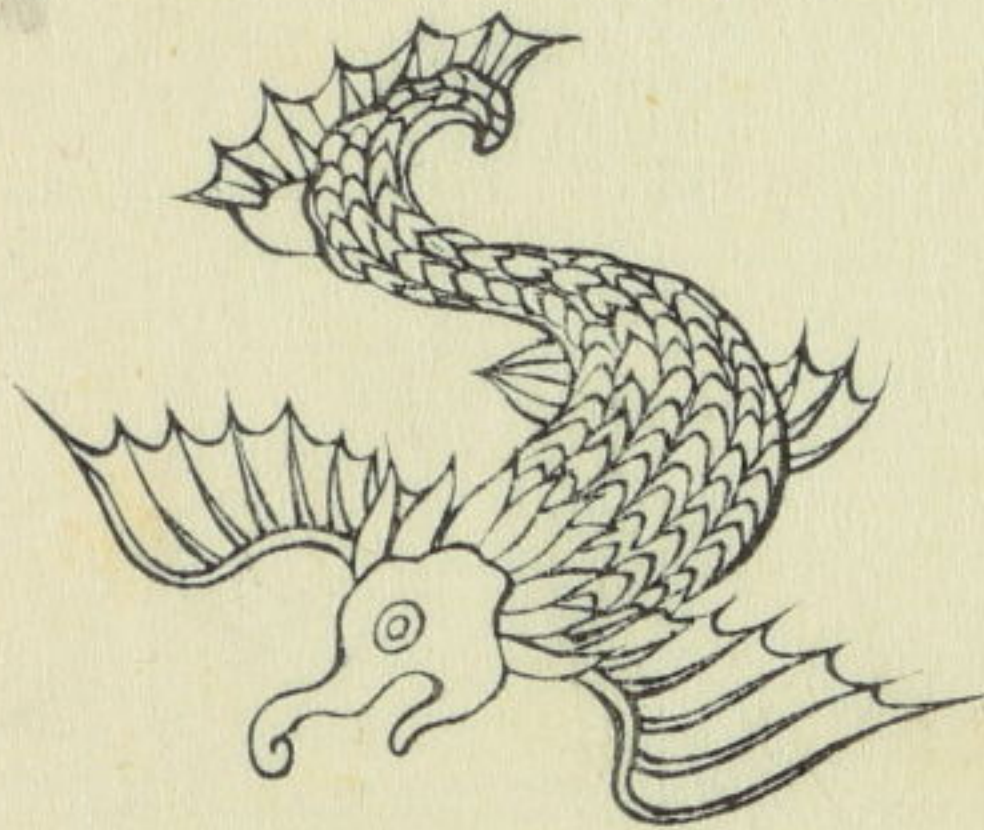
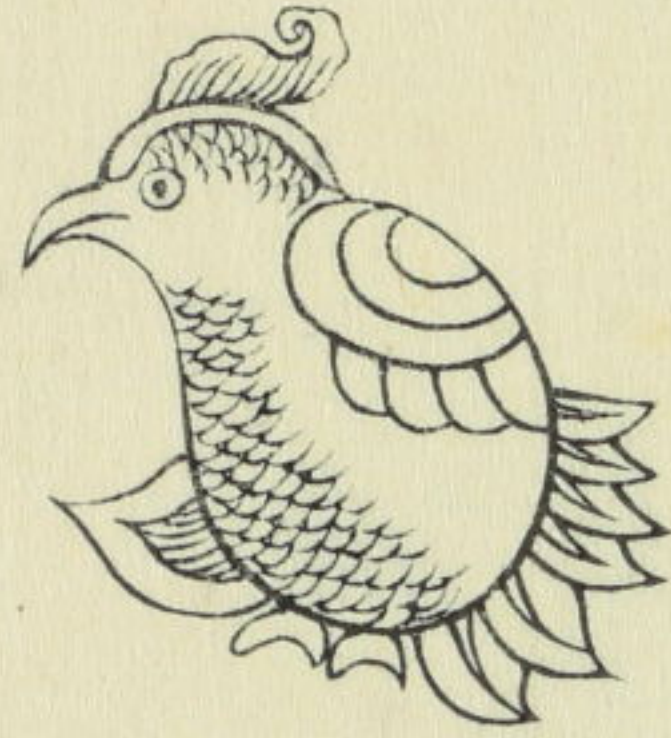


古代異體摹樣



唐獅子

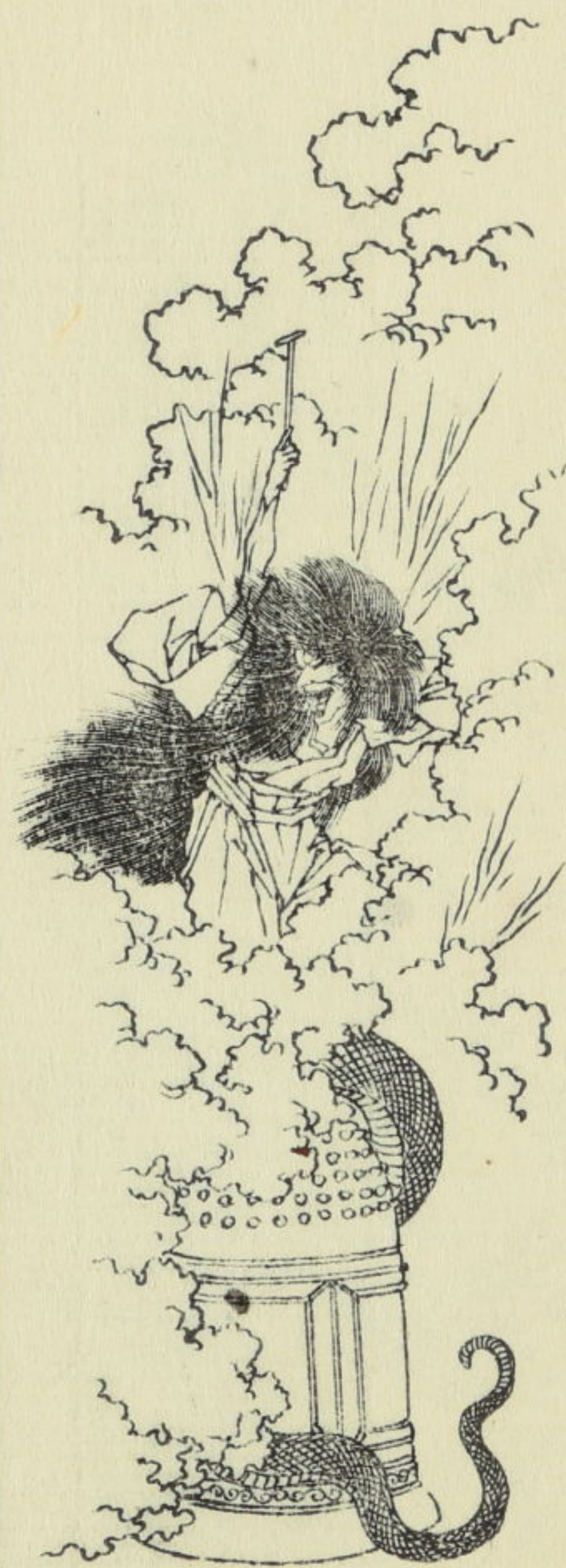
古代異形摸樣



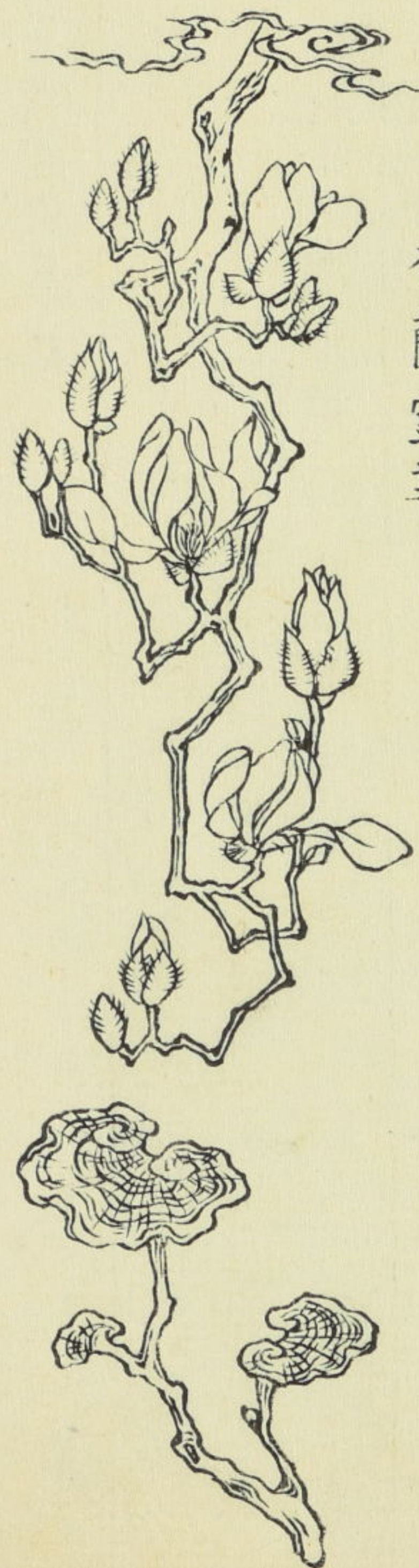
高勿准形畫譜 二編



月
= 鷗



道成寺



木蘭靈芝



古代唐模様

蓮ニ白燕



神功后皇



須佐之男命 八俣於呂智退治



柑手佛



萬物准形圖譜 二編

萬物類聚新編
萬物類聚新編
萬物類聚新編
萬物類聚新編

桃モモ



源ゲン二位ニ頼政ヨリマサ



太タイ公コウ望ボウ

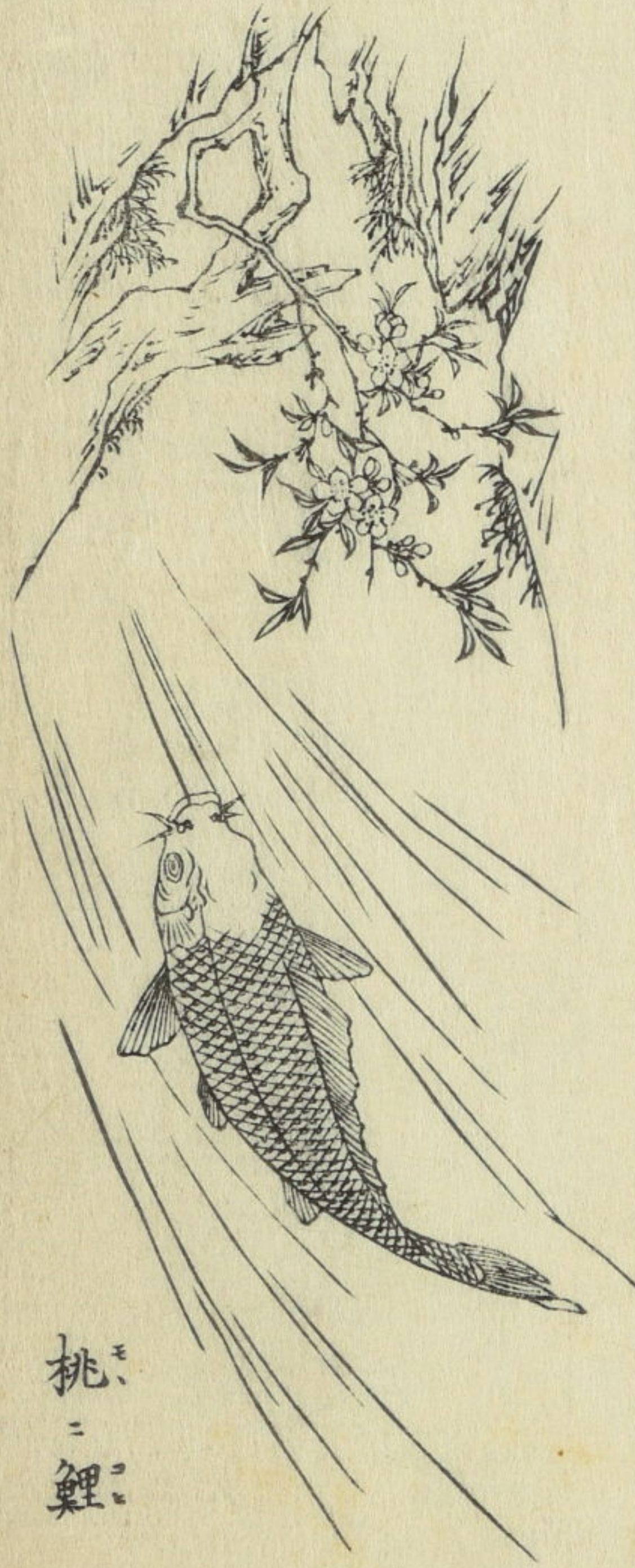


千重チハツバキ椿ニ駢ハ鳥トリ

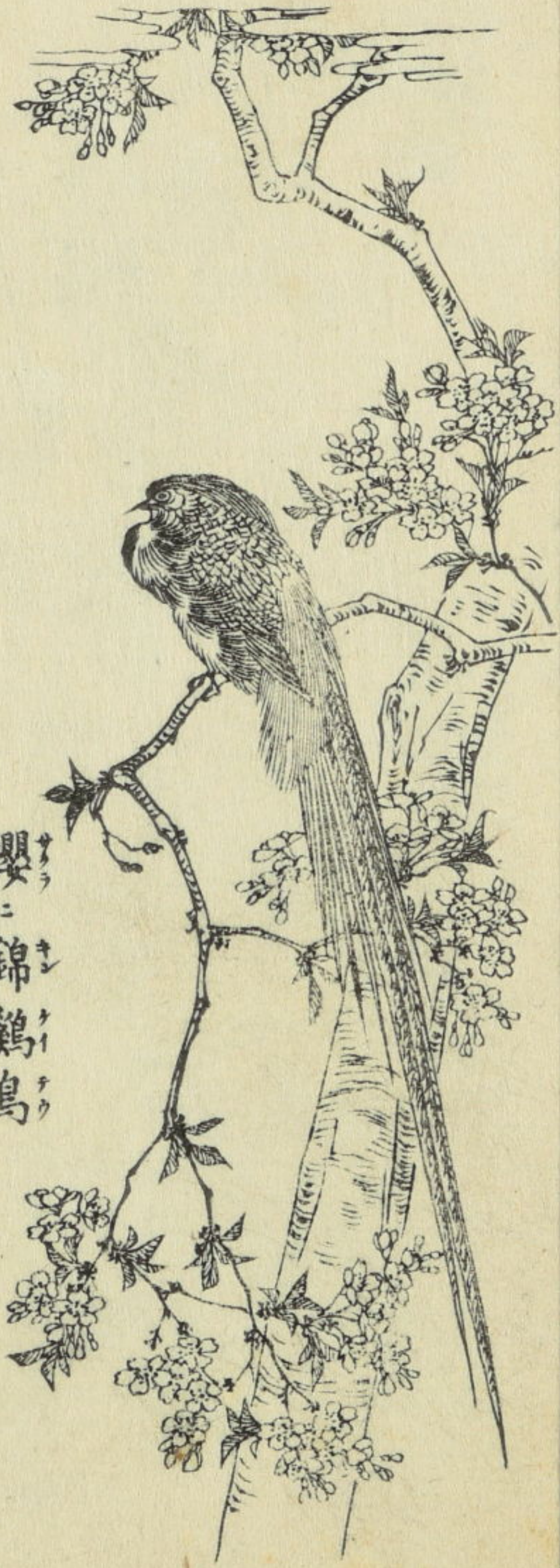


萬物類聚新編
二編

十一



桃ニ鯉



櫻ニ錦鶏鳥



花唐草



初草

萬物雅形畫譜 二編

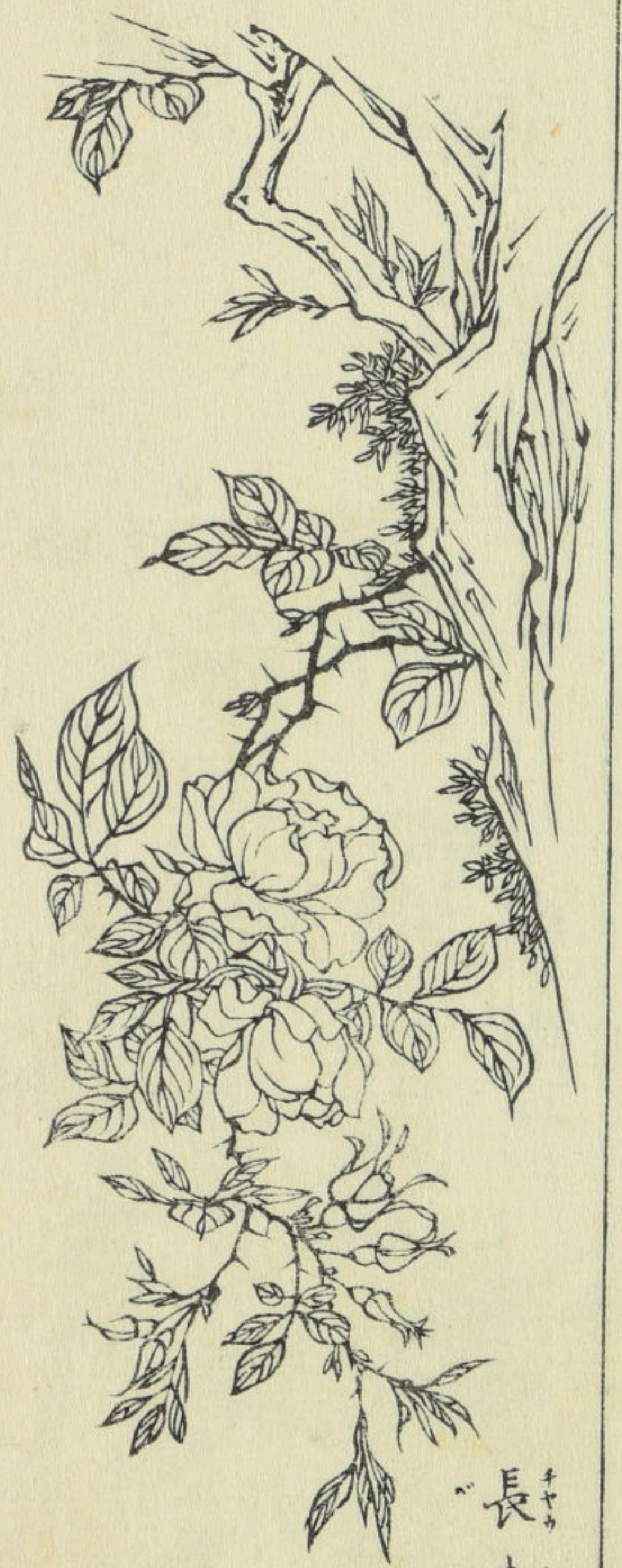
廿四



梅ニ鯉



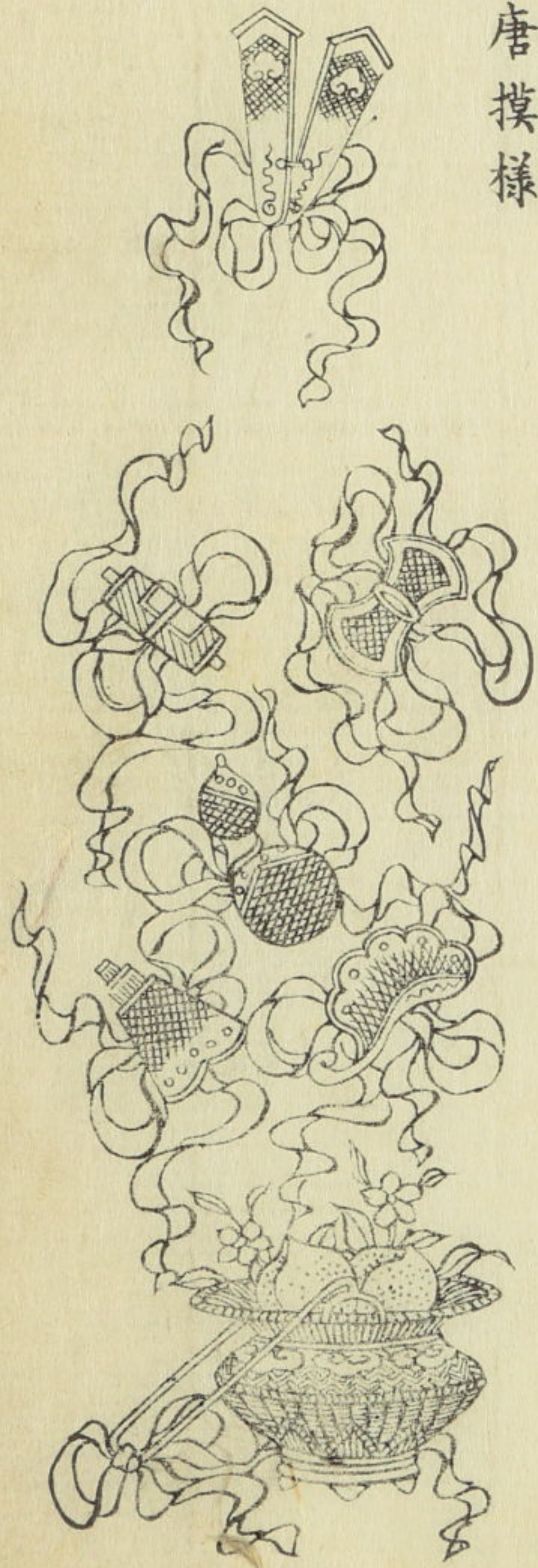
日本武尊



長春



鮑壺ニ鮑



唐摸樣



增正坊 牛若



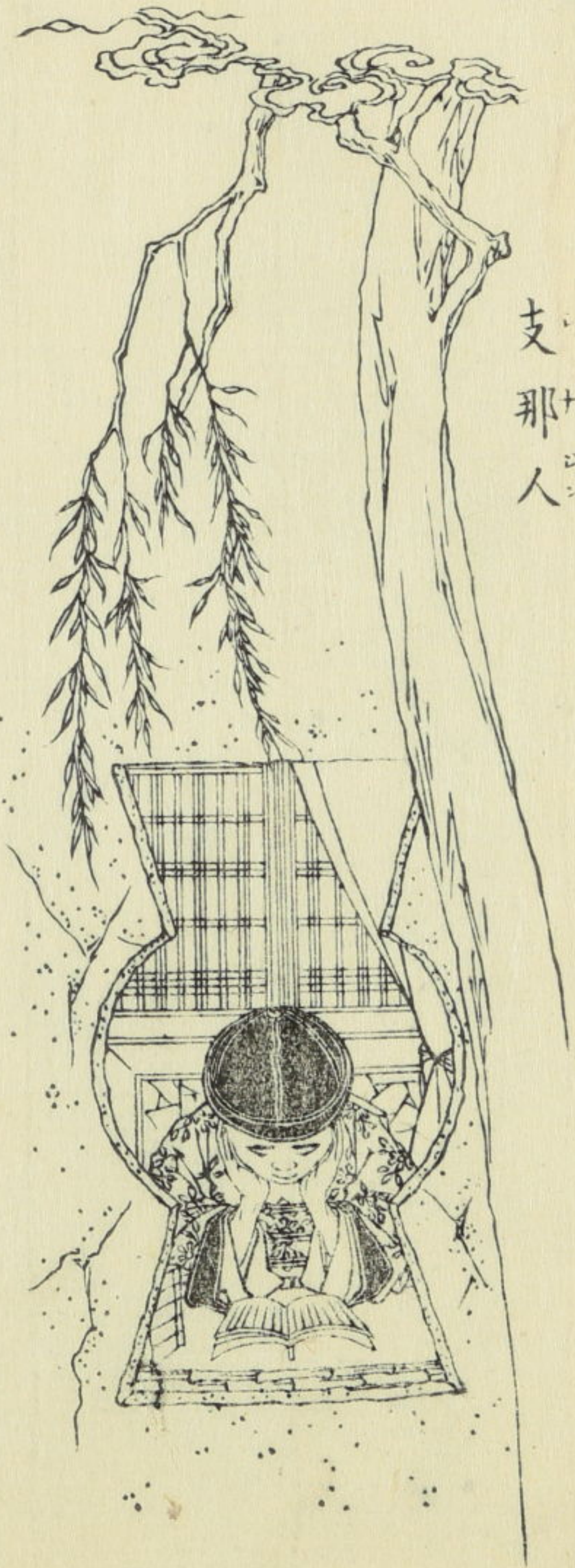
水仙ニ變鴨



玉操前



松ニ牡丹



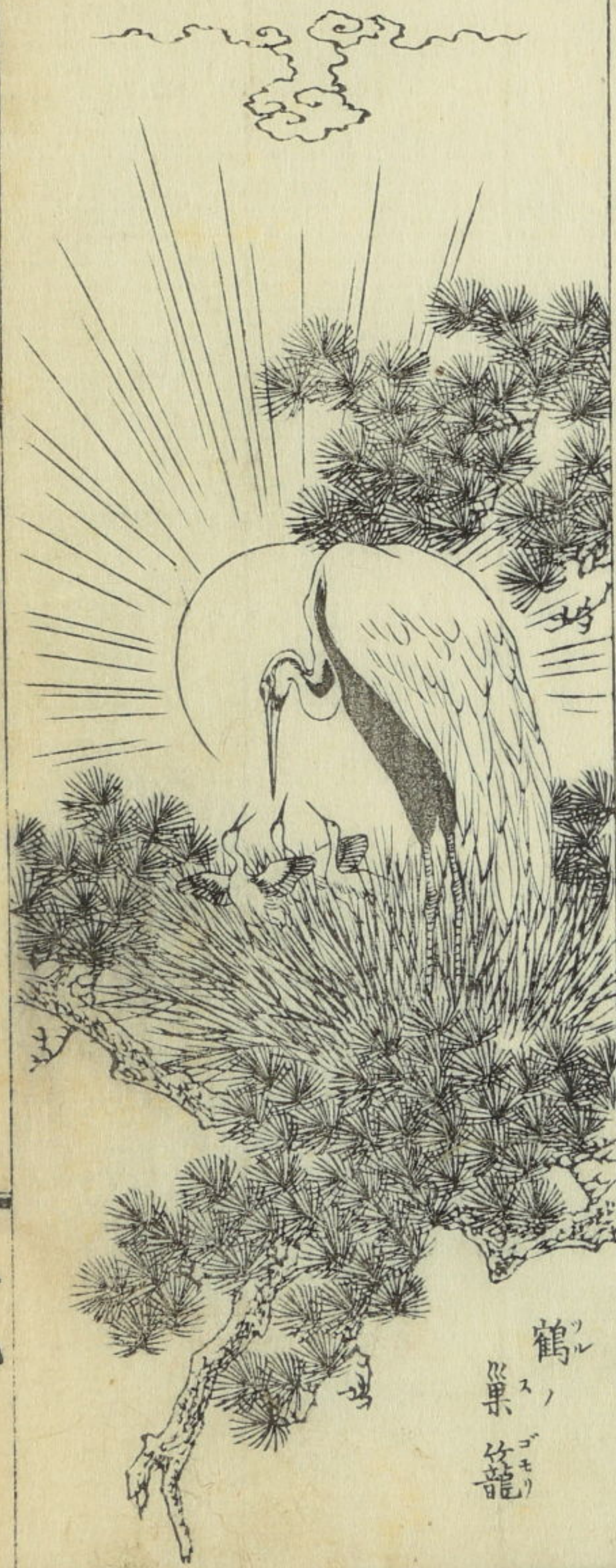
支那人



達磨



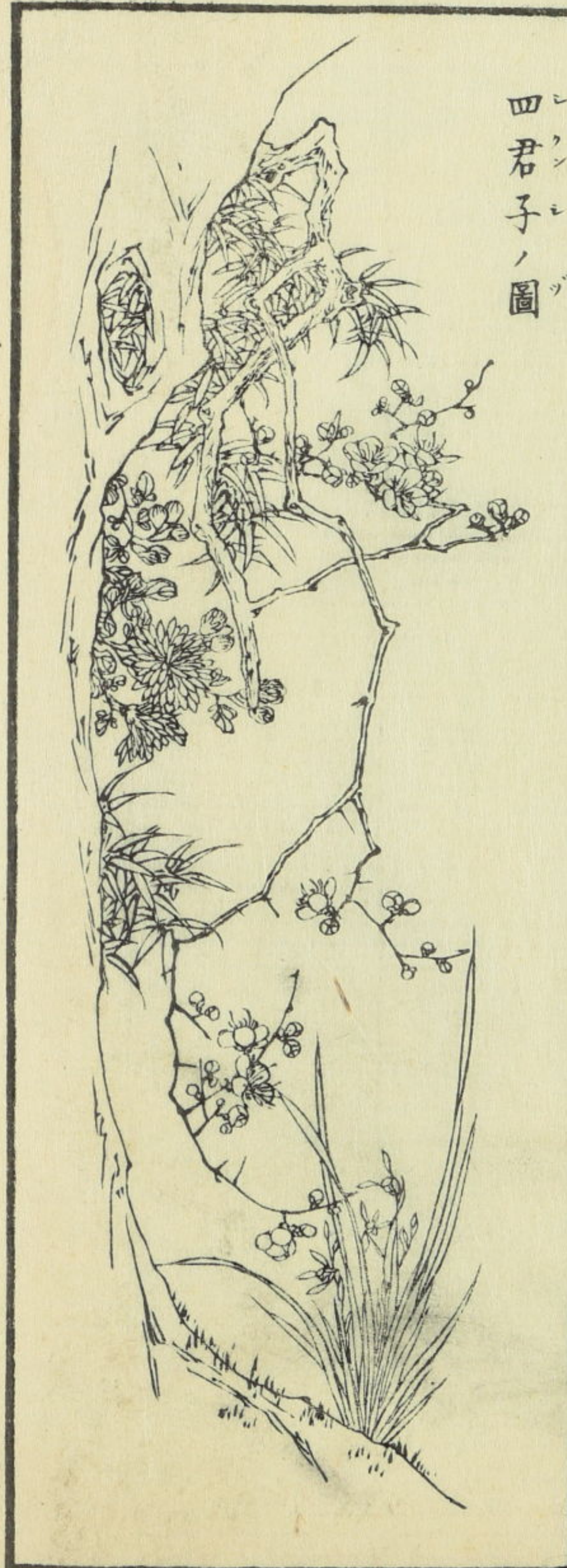
春蘭 柘榴



鶴ノ
巢ノ
籠



七
福
神



四
君
子
ノ
圖



風
神

萬物雜形画譜二編三編四編共遂次刻成ス何レモ人物
山水古代模様ノ類草木鳥獸魚虫ニ至ル迄委ク細筆

版權 明治十三年十月十三日
免許 同 十三年十一月出版

編輯人 象升彫工

明龍齋

川安親



畫工

鮮齋永濯



彫工 大塚鍊五郎



東京

原板主

江藤喜兵衛

書林

求板主

小堀ふさ
神田區末廣町七番地
神田區松住町四番地

官登龍丸

食物一切
さし合ふ

定價

七粒入 金拾七錢
貳粒入 金五錢

此登龍丸ハ我家の秘法ヨリて痰留飲一通りの妙薬なり
此丸ハ世に於ては上胸痛立石成る又留飲して氣をふさぎ胸に
夜も寐も事成らねども軒も痰の産粒重なり一週り数年の難症ハ三
りも用ゆる時ハ忘まらざる痰を治し咳を止め留飲ハ胸をひらき病
愈ふ疑ひハ尤も其症より服して其翌日痰咳出て止らざるも
れ共二三日服せば連るあり是を依て心氣のつらさを補ひ血を
巡らし脾胃を調へ氣力を増し即効能なる也
用て功驗の大いなるを知らし
一十年世々喘息 一 勞瘵の咳 一 引籠のせき
一 咽喉せき 一 痰飲の咳 一 痰血の交り 一 痰飲吐き出し
一 動氣つら 一 小兒百日咳 一 婦人産後咳 一 留飲して胸
一 留飲して氣ふさがり此丸を服用するより起る病一切より
音聲をほろ人す用由是を知らし

官許 龍聖湯

婦人血の道

大妙薬

定價 金四錢

一 柳此此龍聖湯我家秘法にて産前産後血の道に正法あり
あるか古より産後丸一回をいりて更なる中絶ありては
切欠け當今血求の神人日くより更なる中絶ありては
の官許蒙り最上は四方の諸君他は血の道薬如く少
りといふも實は産後丸の左右とて一奇薬ありて切欠
大なるをいふべし

一 産前産後○月やとて○ぼつら○めまはちちみ
○むねのいたみかたあり○血を固くし○やくすく○せし
ま女公男女も血の道よりおこす病一切よ
尤も何れも回名また後世薬如く少なるを固くす
上の求あらんことをいふ

製劑本舗

青雲堂

神田末廣町七丁目

英屋小坂文藏

